

(令和2年度単年度経営計画)

京都御池地下街(株)	令和2年度経営計画 兼 経営努力結果
------------	-----------------------

基本事項

所管局課	都市計画局都市企画部都市総務課	本市出資金	2,040,000 千円
基本財産/資本金	3,495,000 千円	本市出資率	58.4 %

「外郭団体のあり方の抜本的な見直し」に係る「今後の方向性」

方向性	存続	目標年度	-
-----	----	------	---

「今後の方向性」に向けた基本的方針

業務面	ゼスト御池地下街の更なる活性化を図る。
財務面	収益力の向上を図り、経営の自律性と安定性を高める。
組織面	業務量の変化に応じた体制の適正化を図りつつ、より一層組織・業務が機能するよう体制の整備も図る。
その他	

当年度の取組目標に対する意見

所管局	来街者数やテナント売上など堅調な目標を立てており評価できる。西側飲食区画のリニューアルに向け、イベントや広報の充実など、収益力の向上を期待する。
-----	--

当年度の「今後の方向性」の進捗状況及び各取組に対する総括(※)

団体	令和2年度は、全国的規模で新型コロナウイルス感染症が流行し、緊急事態宣言による営業の制限、外出自粛やリモートワークの拡大などにより、国民の行動、消費活動が大きく変化した。ゼスト御池地下街は日常の利便性、地元密着をコンセプトとしていたことから、観光業に見られるような深刻な影響は受けなかったものの、地下街、駐車場ともお客様の利用が減少し、業績が下がった。今後も厳しい状況が続くと考えており、テナント、管理会社、当社が一丸となって、この難局に望む必要がある。
所管局	新型コロナウイルス感染症の拡大による外出自粛要請を受け、テナント売上高や来街者数など前年度を大きく下回ったが、スタンプラリーなどの需要喚起策の実施や積極的なリーシングによる空きテナントの解消など、コロナ禍における地下街の魅力向上に努めており評価できる。 引き続き、感染症対策を徹底しながら、安定した地下街運営を期待する。

(1)業務に関する取組

目標「ゼスト御池地下街の魅力の向上による賑わいの創出」

中期経営計画における取組	地下街の環境整備（未整備部分のリニューアル等：令和元年度実施予定）、魅力のある店舗展開による顧客サービスの一層の強化により、地下街の魅力向上を図るとともに、広場を活用したイベント等の更なる充実により、地下街の一層の賑わいづくりに取り組む。
当年度目標	令和元年度から着手している西側飲食区画のリニューアルの取組について、新テナントの入店や御幸町広場、通路の環境整備等を実施し、令和3年度の開業を目指す。また、広場イベントについても、商業的なイベントをはじめとして、内容等を充実させることにより、地下街の魅力の向上を図り、地下街の一層の賑わいづくりに取り組む。
当年度結果(※)	令和2年度は、西側飲食区画のリニューアルを推進し、令和3年4月2日にオープンした。また、空き店舗も解消した。広場イベントについては、新型コロナウイルス感染症の拡大により4月から全面的に中止し、7月からは密にならない展示や販売のイベントを再開し、更に9月からは音楽のイベントを再開したが、主催者による自粛も多数あり、年間開催件数は前年を下回る150件（284件）となった。

(令和2年度単年度経営計画)

京都御池地下街(株)	令和2年度経営計画 兼 経営努力結果
------------	-----------------------

指標1	来街者数の増加 (単位:千人)							
中期経営計画	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	11,000		11,000		11,000		11,200	
実績	見込	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績(※)
	10,900	10,948	11,000	11,225	11,300	11,072	11,200	8,446

指標2	テナントの年度総売上高 (単位:百万円)							
中期経営計画	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	2,970		3,100		3,000		3,200	
実績	見込	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績(※)
	3,000	3,005	3,100	3,075	3,150	3,007	3,006	2,603

(2)財務に関する取組

主要財務数値	(単位:千円)						備考欄
	平成30年度		令和元年度		令和2年度		
	予算	実績	予算	実績	予算	実績(※)	
売上高	1,081,317	1,089,509	1,122,280	1,074,950	1,090,000	994,984	
売上原価	0	0	0	0	0	0	
販売一般管理費	1,232,103	1,203,819	1,205,541	1,176,433	1,216,000	1,191,443	
営業利益	△ 150,786	△ 114,310	△ 83,261	△ 101,483	△ 126,000	△ 196,459	
経常利益	△ 155,602	△ 117,981	△ 88,590	△ 98,037	△ 130,000	△ 186,894	
当期純利益	△ 156,552	△ 118,933	△ 89,541	△ 98,986	△ 131,000	△ 188,387	
資産合計	-	11,631,483	-	10,959,468	-	10,294,577	
純資産合計	-	2,328,094	-	2,229,108	-	2,040,721	

目標「収益力の向上」

中期経営計画における取組	環境整備や魅力的なテナントの誘致、イベントの充実等により、来街者・実際に購入されるお客様の増加に取り組み、テナント賃料の増収、駐車場の利用促進に努め、収益力の向上を図る。環境整備等については、市役所との連絡通路の完成までに実施できるよう令和元年度に取り組み予定としている。このため、令和元年度には、一時的に経費の発生や収入の減少が発生するが、計画期間中、更なる減価償却前営業利益の拡大を目指す。
当年度目標	イベント等の充実により、来街されるお客様の増加に取り組むとともに、駐車場の利用促進にも努める。西側飲食区画のリニューアルの取組については、市役所との連絡通路の完成時期に合わせ、リニューアルの取組みが令和2年度となったため、売上等が伸び悩むが、新テナントの入店や環境整備が整い開業する令和3年度以降、地下街の魅力が向上し、地下街の一層の賑わいづくりが図れるよう取り組む。また、一時的に関連経費の増加も見込まれるが、減価償却前営業利益が拡大するよう努める。
当年度結果(※)	新型コロナウイルス感染症の流行により、地下街、駐車場ともお客様の利用が減少した。地下街では3密の回避に配慮した販売促進策の増強により、駐車場では定期券発売枠の増により収入の確保に努めた。減価償却前営業利益は前年を下回った。西側飲食区画のリニューアルについては、令和3年4月2日にオープンした。また、積極的なリーシングにより空き店舗が解消できた。

指標	減価償却前営業損益 (単位:千円)							
中期経営計画	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	428,000		451,000		402,000		481,000	
実績	見込	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績(※)
	460,959	465,743	451,000	508,192	509,000	492,836	469,000	399,031

京都御池地下街(株)	令和2年度経営計画 兼 経営努力結果
------------	-----------------------

(3)組織に関する取組

目標「業務量の変化に対応した体制の適正化」	
中期経営計画 における取組	ゼスト御池地下街は、環境整備の実施や、開業後20年を経過した施設設備等の更新、保守管理等への対応が必要であるため、平成30年度以降、業務量の増加が見込まれるが、迅速かつ効率的な対応を実施するために施設部門の体制を適正化し、修繕費や人件費等の経費増加を極力抑制する。
当年度目標	令和元年度から統括管理会社を変更し、また、施設管理部門を強化したことにより、細やかな施設管理が可能となった。引き続き、光熱水費等販売一般管理費の削減を図るとともに、より一層適切な施設、設備等の管理運営を行う。
当年度結果 (※)	販売一般管理費のうち、水道光熱費、消耗品費等は経費削減ができた。西側飲食区画のリニューアルの実施により委託業務費が増加した。

指標	販売一般管理費 (単位：百万円)							
	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
中期経営計画	—		1,241		1,279		1,203	
実績	見込	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績(※)
	1,254	1,246	1,241	1,204	1,205	1,176	1,216	1,191